



なつやすみ特集



生きもの観察ノート

4年 3組

記入例

名前 きのぽん

■見つけた生きもの ミヤマシジミチョウ



■観察日

8月15日(木)

■時間

午前・午後 9時30分

■場所

家の近くを流れる〇〇川の土手に広がる草むら。

■観察したこと

大きさは2センチぐらいで、小さいチョウです。

羽根の表面は、とてもきれいな青色で、先の方は黒い線でふちどられています。また、うら面は白とオレンジ色で、黒いはん点が広がっていました。

■調べたこと

図かんで調べたら「チョウ(りんし)目 シジミチョウ科 ミヤマシジミ」でした。おどろいたのは、かんきょう省のレッドリストカテゴリーの中で「絶めつきぐⅡ類」に指定されており、絶めつの心配がある、数が少ないチョウのようです。





■観察した場所 家のまわり、庭

■見つけた生きもの

カナヘビ、イモリ、アブラゼミ、アリ、セセリチョウ、シオカラトンボ、ジョロウグモ、アブラムシ
カタツムリ、カナブン、てんとう虫、カマキリ、ショウリョウバッタ、ダンゴムシ
スズメ、ハクセキレイ、ネコ

■観察した場所 おかの上公園

■見つけた生きもの

コクワガタ (メス)、アゲハチョウ、ショウリョウバッタ、ミヤマシジミチョウ、セセリチョウ、カマキリ
シオカラトンボ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、クマゼミ、ミツバチ、アリ、クモ
スズメ、ハト、カラス

■観察した場所 川と川ぞいの遊歩道

■見つけた生きもの

アメリカザリガニ、アメンボ、コイ、トビゲラ、メダカ、クサガメ、ミミズ
アマガエル、カナヘビ、クロアゲハチョウ、シオカラトンボ、アブラゼミ、アシナガバチ、アリ
コサギ、カルガモ、ツバメ、コウモリ、スズメ、ハト、カラス、ネコ

■観察した場所 おばあちゃんの家近くの海辺

■見つけた生きもの

ショウジンガニ、ヒライソガニ、貝 (イシダタミガイ、シツカ、ヒガラガイ)、ムラサキウニ
イソギンチャク、アメフラシ、アオウミウシ、イトマキヒトデ、キヒトデ、フジツボ、フナムシ
カモメ

■感じたこと

ミヤマシジミはいまではとてもきちょうなチョウで、昔はたくさんいたそうです。
住たく開発や道路工事などで、生息するかんきょうが大きく変わり、食べものとなる特定の草が少なくなったことが原因かもしれません。
それ以外にも、水辺や森、海など場所によって観察できた生きものはいろいろです。地球には人間だけでなく、さまざまな生きものがいます。
だからこそ、ゆたかな地球が成り立っているんだな、と感じました。